



# 旧尾藤家住宅

## 国重要文化財指定記念事業のお知らせ

● 日程 4月20日(土)

● 会場 旧尾藤家住宅

● 内容 トークセッション・音楽会など

社会教育課 ☎ 43・9026



### まちの話題お届けします

● ちりめん街道 ひなめぐり  
家々のおひな様を楽しむ



旧加悦町役場庁舎のおひな様を眺める来場者

2/23 重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」一帯において、毎年恒例の「ちりめん街道 ひなめぐり」が開催されました。おひな様展示には、旧尾藤家住宅を含む15軒が参加。家々で受け継がれてきたおひな様が展示され、訪れた方たちは足を止め写真に収めていました。また、3月2日・3日は、手作りの小物販売などが出店する「街道市」が行われ、「まち並みとおひな様、飲食も楽しめた」と話すなど、家族連れなどでにぎわいました。

● みらいふまつり - 与謝野町の環境未来 2024 -  
さまざまな視点でエコを考える



約800人の来場があり会場は大にぎわい

3/3 与謝野町の環境保全や地球温暖化防止対策の一環として、一緒に楽しく交流しながら環境を考える啓発イベント「みらいふまつり — 与謝野町の環境未来 2024 —」が、野田川わーくばるで開催されました。

会場は、エコ遊びや地球温暖化に関する講演・環境クイズ、こども服などの交換会、各種ブースの出展、キッズダンス、キッチンカーなどでにぎわいました。家族連れが多く、楽しみながら環境問題を考える機会となりました。

● 「細井和喜蔵ものがたり」制作発表会  
町の歴史を残す紙芝居動画が完成



発表会には130人を超える来場者がありました

3/9 読み聞かせボランティアグループ「マザーグースの会」主催の、与謝野町出身の作家細井和喜蔵の生涯をたどった紙芝居動画「細井和喜蔵ものがたり」の制作発表が、野田川わーくばるで開催されました。

細井和喜蔵は、大正時代の紡績工場で働く女工たちの過酷な労働の様子を綴った小説「女工哀史」の作者。同会は、与謝野町出身でありながらあまり知られていないことを残念に思い、出版物や発掘された手記などをもとに、8年もの歳月をかけ紙芝居動画を制作。冒頭に同会代表の新田雪江さんは「多くの人に細井和喜蔵の生涯に触れてもらい、次世代に継承していくためのツールとなることを願っています」とあいさつ。



「細井和喜蔵ものがたり」の制作に携わった臼井さん(左)、藤原さん(中央)、新田さん(右)

「丹後編」「大阪編」「東京編」の3部で構成される作品が上映されると、来場者たちは真剣な眼差しで見入っていました。上映が終わると大きな拍手が沸き起こり、「与謝野町にこんな偉大な方がおられたことを誇りに思いました」「素晴らしい作品だった。子どもたちへの与謝野町の財産となりえる作品だと思います」などと感想が聞かれました。

● 桑飼小学校閉校記念碑除幕式  
約260人の支援を受けて完成



設置された記念碑を写真におさめる参加者たち

3/17 旧桑飼小学校の跡地に移転した「特別養護老人ホーム 与謝の園」の新築工事にあわせ、同校にゆかりのあるものを一堂に集めて整備した「桑飼日吉ヶ丘公園」の開園と「桑飼小学校閉校記念碑」の完成を祝い、約50人の参加者のもと式典が行われました。

これらの整備は、卒業生など約260人の方々からの支援により実現。記念碑を眺めながら母校を懐かしむ様子や、久しぶりの再会で思い出話に盛り上がる参加者らの姿が見られました。

● 与謝野町立小・中学校卒業証書授与式  
約340人の児童・生徒が卒業



着物や羽織袴、スーツ姿で歌をうたう卒業生たち

3月15日に与謝野町内の3中学校、21日には6小学校において卒業証書授与式が行われ、約340人の児童・生徒が卒業の日を迎えました。

加悦小学校では、41人の児童が卒業。卒業生たちは少し緊張した面持ちを見せながら、小長谷校長から卒業証書を受け取っていました。その後、お別れの言葉や合唱などが行われ、保護者や在校生らの拍手を背に受けながら、慣れ親しんだ小学校を巣立ちました。